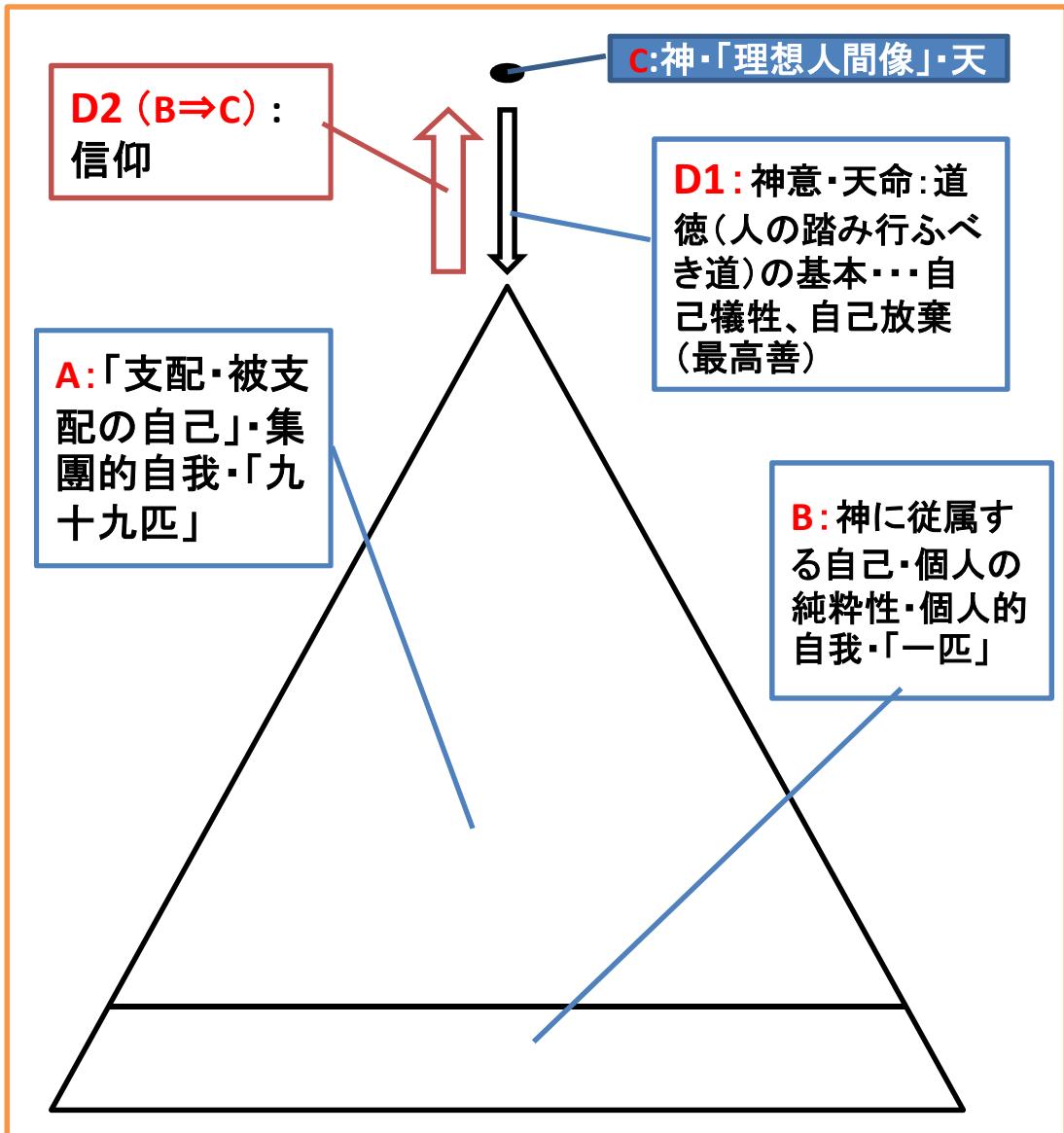


「道徳(D1)の基本は絶対に變はない」



*『人間の生き方、ものの考へ方』
(昭和四十一年講演)より。「」内
が恒存文。()内は吉野注。

〔價值について〕

*「道徳(D1)の基本は絶対に變はない。なぜなら、最高善と言ふものは、洋の東西を問はず、自己犠牲、自己放棄(D1)と言ふ事にあるからです。自己を他人の爲、或いは自己よりも大いなるものの爲、小は家庭から、大は國家、世界、人類等の爲に捨てる事です。此處までは、道徳(D1:人の踏み行ふべき道)の段階ですが、宗教的にはもつと高い次元である神(C)と言ふ様な抽象的なものに對する信仰(D2)が在る譯です」(P113)。

*「宗教(B⇒C)は進歩と言ふものを否定するのではありませんが、さう言ふものに對して(宗教は)精神(B)の高さを維持する役割を果す。そして道徳的(D1)には自己犠牲(D1)と言ふ最高善を果すものです」(P114)。